【授業科目】チーム医療演習　Practice of Team Approach to Health Care

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
杉浦 諭、大西 信行、豊田 妙子 山口 央輝、榎本 喜彦	3 年次 前 期	選 択	1	15	演習	あり	巻末 掲載	可

授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／チーム医療における協調性、責任感、コミュニケーション能力の向上は必須である。また専門分野以外の勉強も学際性を伸ばすために必要である。本学の特性を活かし２学科共通の科目をもち学科の壁を越えて本科目を履修することにより、医療現場において必要とされる資質や知識、さらには情報管理やチーム運営についても修得させる。各科混成の小グループを作り、提示された症例を各科の専門性を基に診療計画、検査結果の解釈、危機管理などをディスカッションし、医療チームの一員として多職種連携を実践させる。ディスカッションを通じ、医療コミュニケーションも体得させる。 ＊実務経験を持つ教員が授業を進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／提出されたレポートにはコメントすることでﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸを行う。
実務経験に関する 授業内容	医師、看護師、臨床検査技師の臨床経験をもつ教員が、医療専門職として必要なチーム医療のあり方について、実経験を交えながら指導していく科目である。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー④「幅広い視野でヘルスケアシステムにおける看護の専門性ならびに関連する多職種の機能・役割を理解し、連携して地域社会に貢献することができる。」の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	①チーム医療における各職種の意義を説明できる。 ②チーム医療における多職種の業務内容を説明できる。 ③特定疾患における各職種の考え方を理解できる。 ④チーム医療における情報管理や運営の方法を習得し、職業倫理を高める。
時間外学習に 必要な学修内容 および 学習上の助言	毎回の演習内容について復習とまとめを行う(60分)。 臨地実習など医療現場で学んだ知識を生かし、特定の疾患に対しそれぞれの職種としてどのように対応していくかを他学科学生にわかりやすく説明し、お互いの職能、知識を共有し、チーム医療の根本となるチーム意識を高めてほしい。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第 1・2 回　ガイダンス、グループ分け 第 3・4 回　演習１－１．症例①についてのグループワーク 第 5・6 回　演習１－２．症例①についてのグループ単位でのレポート・資料作成、発表 第 7・8 回　演習１－３．症例①の発表に対するディスカッション 第 9・10 回　演習２－１．症例②ついてのグループワーク 第11・12 回　演習２－２．症例②についてのグループ単位でのレポート・資料作成、発表 第13・14 回　演習２－３．症例②の発表に対するディスカッション 第15 回　総合ディスカッション、総括 全て 杉浦 大西 豊田 山口 榎本
評価方法 評価基準	成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。 レポート 100%
教科書	必要に応じて資料を配付します。　／　参考書等：なし
学生への メッセージ	皆さんが目指す医療職に関して、お互いの職能と知識を共有し、チーム医療の根本となるチーム意識を高めてほしい。これまで学修してきた医学知識をフル活用し、コミュニケーション能力、説明能力をいかんなく発揮してください。